

◆ カドミウムについて（「食品安全情報」から抜粋・編集）

－その３（２００３年４月～２０２０年３月）－

「食品安全情報」(<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/index.html>) に掲載した記事の中から、食品中のカドミウムについての記事を抜粋・編集したものです。

公表機関ごとに古い記事から順に掲載しています。

- 米国疾病予防管理センター CDC (Centers for Disease Control and Prevention)
- カナダ保健省 (Health Canada、ヘルスカナダ)
- カナダ食品検査局 (CFIA : Canadian Food Inspection Agency)
- カナダ統計局 (Statistics Canada)

記事のリンク先が変更されている場合もありますので、ご注意ください。

● 米国疾病予防管理センター CDC (Centers for Disease Control and Prevention)

1. 環境化学物質へのヒトの暴露に関する第3次報告書

Third National Report on Human Exposure to Environmental Chemicals

(July 21, 2005)

<http://www.cdc.gov/exposurereport/3rd/>

「食品安全情報」 No.16 (2005)

CDCは148の化学物質のヒト暴露に関する報告書を発表した。この種の報告としてはこれまでで最も大規模でわかりやすいものである（フルテキスト：475ページ）。

例えば1才～5才の子どものうち血中鉛濃度が10 $\mu\text{g/dL}$ 以上の子どもの割合はここ数年で急激に減少しており、最も新しい報告(1999～2002)では1.6%になっている。また4～11才、12～19才、20～74才の人の血中コチニン（ニコチン代謝物）濃度は受動喫煙の低下のため過去10年で下がってきている。主に喫煙により増加するカドミウムについては、20才以上の5%で尿中カドミウム濃度が健康影響の懸念があるレベルより高かった。水銀に関しては、胎児に影響のある58 $\mu\text{g/L}$ 以上の水銀値を示す女性はいなかった。

◇サマリー：http://www.cdc.gov/exposurereport/3rd/pdf/thirdreport_summary.pdf

◇フルテキスト：<http://www.cdc.gov/exposurereport/3rd/pdf/thirdreport.pdf>

目次の物質名をクリックするとその物質のページが出る。

◇Telebriefing Transcript：ウェブキャストの内容

<http://www.cdc.gov/od/oc/media/transcripts/t050721.htm>

第3次報告書についての説明と、その後に質疑応答が収載されている。

◇収載されている物質：金属（カドミウム、鉛、水銀など）、タバコの煙（コチニン）、多環芳香族炭化水素、ダイオキシン類、非ダイオキシン様ポリ塩化ビフェニル類、フタル酸エステル類、植物エストロゲン、有機塩素系農薬、有機リン系農薬、除草剤、ピレスロイド系殺虫剤、カーバメート系殺虫剤、その他

● カナダ保健省（Health Canada、ヘルスカナダ）

1. カナダ政府は企業に対して子ども用ジュエリーにカドミウムを使わないよう要請

Government of Canada Calls on Industry to Voluntarily Stop the Use of Cadmium

in Children's Jewellery

October 19, 2010

http://www.hc-sc.gc.ca/ahc-asc/media/nr-cp/2010/2010_178-eng.php

「食品安全情報」 No.23 (2010)

カナダ政府は、子どもの健康と安全を保護するため、カドミウム及びカドミウムを含む原料を使用した子ども用ジュエリーの製造、輸入及び販売を自主的に停止するよう企業に要請した。

ヘルスカナダの検査によれば、鉛の代わりにカドミウムを使う事例が増加している。高濃度のカドミウムを含むジュエリーを身につけているだけでリスクがあるのかは不明であるが、ヘルスカナダのリスク評価の結果では、なめたり飲み込んだりすると重大なリスクとなるとの結論が出されている。

2. カナダ政府はカナダ健康対策調査の最新結果を発表し、ヒトバイオモニタリングの 10 年を祝福する

Government of Canada celebrates 10 years of human biomonitoring with the release of the latest results of the Canadian Health Measures Survey

August 24, 2017

https://www.canada.ca/en/health-canada/news/2017/08/government_of_canadacelebrates10yearsofhumanbiomonitoringwiththe.html

「食品安全情報」 No.18 (2017)

この調査は豊富なデータを提供し、カナダ政府が化学物質暴露からカナダ人の健康を守るための対応に役立っていた。

化学物質は日常生活の一部である。経済や地域、家庭に必須である。化学物質には利点があるが、適切に管理されなければ有害影響もある。カナダ政府は化学物質暴露からカナダ人を守ることは世界のリーダーである。「カナダ健康対策調査(CHMS)」のバイオモニタリング部門では、カナダ人の健康と安全を守るための根拠に基づいた決定をするのに情報を提供する、意味のあるデータを集めている。

今年は CHMS の 10 周年で、この機会に Jane Philpott 保健大臣と Navdeep Bains 革新科学経済発展大臣がカナダ統計局主任統計学者 Anil Arora とともに CHMS のサイクル 4 (2014-2015) の結果を発表する。このサイクルではビスフェノール A や鉛、水銀、カドミウム、パラベン、クロルピリホス、マラチオンなどの化合物への暴露を理解する重要な新しい知見を加えた。この調査に含まれる化合物リストは以下ウェブサイトを参照。

[https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-](https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace)

health/reports-publications/environmental-contaminants/biomonitoring-content-summary-canadian-health-measures-survey-cycles1-4-2007-2015.html

＊報告書

Fourth Report on Human Biomonitoring of Environmental Chemicals in Canada

<https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/environmental-contaminants/fourth-report-human-biomonitoring-environmental-chemicals-canada.html>

(239 ページ、7.39 MB)

● カナダ食品検査局（CFIA : Canadian Food Inspection Agency）

1. コメのカドミウム検査は健康リスクがないことを明らかにする

Cadmium testing in rice determines no health risk

2013-05-23

<http://www.inspection.gc.ca/about-the-cfia/newsroom/news-releases/2013-05-23/eng/1369240438603/1369240446635>

「食品安全情報」 No.11 (2013)

CFIA の各種食品の定期検査の一環として発表された調査結果では、カドミウムについて検査したコメ及びコメ製品は全て摂取しても安全であった。

CFIA は、国産及び輸入の合計 280 検体（コメ 56 検体、コメベースの製品 224 検体）について検査した。カナダではコメを栽培していないため、国産と表示されているコメ製品は輸入のコメを原料に国内で製造又は加工されたものである。

154 検体（55%）からカドミウムは検出されなかった。残り 126 検体のうち、コメについては 0.0054～0.0505 ppm、コメ製品については 0.0026～0.2646 ppm のカドミウムが検出された。カナダではカドミウムの基準値を設定していないが、コーデックスのコメのカドミウム基準は 0.4 ppm であり、調査の結果は消費者の健康リスクとはならないことが確認された。

＊報告書：2010-2011 – Cadmium in Rice and Rice-based Products

<http://www.inspection.gc.ca/food/chemical-residues-microbiology/chemical-residues/cadmium/eng/1369229974936/1369230037986>

● カナダ統計局 (Statistics Canada)

1. カナダ人の鉛、水銀及びカドミウム濃度

Study: Lead, mercury and cadmium levels in Canadians (November 19, 2008)

<http://www.statcan.ca/Daily/English/081119/d081119b.htm>

「食品安全情報」 No.25 (2008)

2007/2008 年の 6～79 才のカナダ人のうち、血中鉛濃度が閾値を超えるのは 1%未満であり、1978 年から大幅に低下している。また 20～79 才のカナダ人のうち、血中水銀濃度が閾値を超えるのは 1%未満である。カドミウムについては閾値が設定されていないが、米国やドイツと同程度の濃度であった。ほとんどのカナダ人はこれら 3 種類の重金属を血中に測定可能なレベル含むが、必ずしも有害な健康影響はない。

鉛濃度： 平均 $1.37 \mu\text{g/dL}$ (閾値： $10 \mu\text{g/dL}$)

水銀濃度： 平均 $0.76 \mu\text{g/dL}$ (閾値： $20 \mu\text{g/dL}$)

カドミウム：平均 $0.35 \mu\text{g/dL}$

◇詳細： Lead, mercury and cadmium levels in Canadians

<http://www.statcan.ca/english/freepub/82-003-XIE/2008004/article/10717-en.htm>

最終更新： 2020 年 7 月

国立医薬品食品衛生研究所安全情報部

食品安全情報ページ (<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/index.html>)